

## 教材活用シリーズ 第 150 回

☆日図協加盟出版社の発行している教材について、実際の授業における活用例、より効果が得られるポイント（場面・方法）などをご紹介します。

### 自動採点で児童一人でできる『デジタル漢字・計算プラス』

青葉出版(株)  
『デジタル漢字・計算プラス』



青葉出版(株)  
編集部 国語・算数チーム

#### 1. はじめに

2022 年度、弊社は、先生の校務効率化や児童の個別最適な学びを実現する教材として、『デジタル漢字・計算プラス』を開発しました。本アプリは、従来の紙のドリルにプラスして、タブレットやパソコンで学ぶことができる児童用 Web アプリです。ドリルとは別の問題に何度でも取り組めるので、漢字・計算の基礎・基本がさらに定着します。漢字・計算系ドリルをご採用の方に、アプリを無料でお使いいただいています。

本アプリは、デジタルに苦手意識をもたれて

いる先生方でも簡単に、初めてタブレットを使用する児童でもストレスなく使える設計にしています。毎日使う教材だからこそ、先生も児童も始めやすく、続けやすいことにこだわりました。

#### 2. 始めやすく、続けやすい 3 つの特長

##### ① ID・パスワード不要

多くのデジタルドリルでは、使用の際に ID・パスワードが必要な場合があり、管理が煩雑で先生方の負担が大きいことが課題でした。

本アプリは、ID・パスワードは不要で、表紙の QR コードにアクセスするだけで面倒な設定なくすぐに利用できます。また、目次は各ドリルのページ番号とリンクしているため、ドリルのページを選ぶだけで、すぐに始められるようになっていきます。

##### ② 自動採点で児童一人でできる

本アプリは、自動採点なので先生の丸つけは不要です。

『デジタル漢字プラス』では、とめ・はね・はらいまで自動で正誤判定し、間違えた部分にはしるしや指摘が出るので、児童一人でも正しい書き順・字形を学習できます。丸の判定は花丸と丸の二段階の設定をすることで、児童がより正確な漢字を書くように促しています。

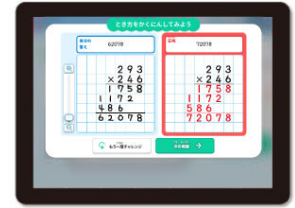
『デジタル計算プラス』では、正解だけでなく、筆算の途中式も表示されるようにしています。さらに、児童が書いた途中式と解答を並べて表示することもできます。自分の途中式と正解を見比べさせることで、どこで計算を間違えたのか自分で気づくように促しています。アプリでの学習にありがちな、正解を覚えて入力する作業にならないよう工夫しました。



▲ページ番号とリンクした目次



▲「漢字の練習」判定結果



▲児童の途中式と正解



▲変更可能な画面レイアウト



▲3段階のなぞり



▲3段階のなぞり

学習結果ページでは、間違えた問題、正答数、学習時間がひとめでわかり、結果に応じて花丸やスターが獲得できるので、児童のモチベーションアップにつながります。さらに、間違えた漢字や計算問題への再挑戦もできます。

また、紙でのドリル学習をサポートするコンテンツとして、漢字の間違えやすい書き順を動画で確認できる「書き順ナビ」と、計算系ドリルの問題の解き方を約1分で確認できる「とき方ナビ」もそれぞれ収録しています。

### ③左きき対応

本アプリは、使う場面に応じて画面レイアウトを選べるので、左ききの児童でも使いやすい設計になっています。画面レイアウトの変更により、漢字のお手本がよく見えたり、計算の書き込みエリアの機能が使いやすくなったりするよう工夫しました。また、誤タッチも起きづらくなるので、紙と鉛筆を使って書くことを習ったばかりの児童でも、ストレスなく使用できます。レイアウトはいつでも変更可能です。

## 3. 児童に応じた練習で、基礎・基本の定着

### ①選べる3段階の練習モード

『デジタル漢字プラス』の「漢字の練習」では、練習モードが「書き順入りのなぞり」「なぞりのみ」「なぞりなし」の3段階から選べ、児童一人ひとりに合った練習が可能です。自分の実力を確かめたいときには、「なぞりなし」モードで挑戦ができ、漢字の定着度を確認できます。花丸が取れないときには、背景に「なぞり」があるモードを選んで何度も練習することで、正しい書き順や字形をしっかりと身につけられ、間違った漢字のまま、書き続けることを防ぎます。

また、「漢字のかくにん」では、単元の漢字がランダムに、文の形式で出題されます。穴埋め式の出題文に漢字を書くことで、漢字の使い方や定着につながります。本アプリで正しい漢字を確実に覚えてから、ノートなどに書いて練習することで、さらに漢字の力を定着させることができます。

### ②ランダム出題と解きなおし

『デジタル計算プラス』では、計算だけでなく、面積、体積、文章題も収録しています。約300問がランダムで出題されるので、何度でもくりかえし練習することができます。朝学習や自学自習など幅広くご利用いただけます。また、『計算のカスキル』などの、これまでくりにかえして練習することが難しかった書き込みドリルにプラスして使用することで、さらなる基礎・基本の定着が期待できます。

間違えた問題に再挑戦する場合も、1問を何度も解く方法と、間違えた問題をまとめて解く方法があり、児童一人ひとりに合った練習が可能です。

### 4. おわりに

『デジタル漢字・計算プラス』には、先生方と児童が始めやすく、続けやすいしくみを数多く収録しています。本アプリがGIGAスクール端末の活用によるドリル学習に、少しでもお力添えできれば幸いです。

※QRコードは、株式会社デンソーウェブの登録商標です。